

変更契約の調書

業務委託名 南陽市公共下水道 赤湯中継ポンプ場耐震補強及び改築実施設計業務委託

当初

工事場所 南陽市 柵塚 地内
請負業者名 日本水工設計株式会社 山形事務所
工事種別 実施設計
工事概要 ポンプ場耐震補強及び改築実施設計業務 N=1式

契約金額 25,960,000 円 (消費税及び地方消費税を含む。)
工期 着工 令和7年5月12日
完成 令和7年11月20日

第1回変更

変更年月日 令和7年11月10日
契約金額(変更後) 金額の変更なし
工期 完成 令和8年3月13日
変更理由

・履行期間の延長について

本業務は「下水道施設の耐震対策指針と解説-2014年版-」((公社)日本下水道協会。以下、旧指針という。)に基づき耐震診断及び設計を行っているが、令和7年9月12日付で国土交通省から通達があった「下水道施設の耐震・対津波対策について」により、「下水道施設の耐震対策指針と解説-2025年度版-」((公社)日本下水道協会。以下、新指針という。)に基づき耐震化及び対津波化を図ることとなった。

適用する地震動について、旧指針ではタイプⅡ(内陸直下型)のみでの設計となっていたが、新指針ではタイプⅠ(プレート境界型)とタイプⅡ(内陸直下型)のうち、厳しい方を選定し設計する事となっており、タイプの選定に時間を要する事と、タイプⅠが選定された場合、修正設計が必要となるため、履行期限を延長し実施したい。

【当初】令和7年5月12日～令和7年11月20日

【変更】令和7年5月12日～令和8年3月13日

第2回変更

変更年月日 令和8年1月27日
契約金額(変更後) 27,276,700円 (消費税及び地方消費税を含む。)
工期 完成 令和8年3月13日 (変更なし)
変更理由

・耐震新指针对応について

本業務は、「下水道施設の耐震対策指針と解説-2014年度版-」((公社)日本下水道協会。以下「旧指針」という。)に基づき、耐震診断及び設計を行っている。

令和7年9月12日付で国土交通省から通達があった「下水道施設の耐震・津波対策について」により、「下水道施設の耐震対策指針と解説-2025年度版-」((公社)日本下水道協会。以下新指針という。)に基づき、耐震化及び対津波化を図ることとなった。

適用する地震動について、旧指針ではタイプⅡ(内陸直下型)のみで設計を行っていたが、新指針ではタイプⅠ(プレート境界型)及びタイプⅡ(内陸直下型)のうち、厳しい方を選定して設計することとされている。

新指針では、タイプⅡ地震動で設計した構造物が、タイプⅠ地震動による設計に対して明らかに安全側である場合には、タイプⅠ地震動の検討を省略できるとしている。

両地震動について比較検討を行った結果、設計水平震度はタイプⅡ地震動の方が大きい値となるものの、構造躯体に作用する杭頭モーメントはタイプⅠ地震動の方が大きい値となった。

このため、タイプⅠ地震動及びタイプⅡ地震動のいずれが安全側となるか判断が困難であり、両タイプについて検討を行う必要がある。

よって、設計計画及び構造計算業務について、増工し実施したい。

耐震新指針対応	設計計画	当初	変更
〃	計算構造	- 式	一式
〃	照査	- 式	一式

・防食劣化調査の増工について

現在、ポンプ場の槽内には防食塗装が施されていない状況であり、今後の長期間にわたる施設運用を考慮すると、耐震補強及び設備更新の実施に合わせて防食塗装を行うことが望ましいと考えられる。

そのため、本業務の現地確認と合わせて防食劣化調査を実施したく、増工し実施したい。

防食劣化調査	当初	変更
	- 式	一式